

事業報告書（研究・開発支援系専門部会、2024年度研究開発支援ゼミ 第2回）

事業名称	2024年度研究開発支援ゼミ 第2回	開催日	2024年10月3日
開催場所	オンライン+現地(聖隷クリストファー大学)	開催時間	19:00~20:40
参加者	会員参加：16名（内静岡県理学療法士会員：7名）		

【活動内容】

2024年度研究開発支援講ゼミは現地参加1名、オンライン参加15名、計16名（県士会員7名、県外士会員9名）にご参加いただいた。講師の佐久間俊輔先生より「きみはどう学会発表するか？～症例発表から研究発表まで～」をテーマに、受講生が学会発表にエントリーできるよう、症例発表から研究発表へと発展させるプロセスを自験例に基づき解説、統計解析に必要な基本知識など抄録作成に必要な要素についてご講義いただいた。

事前アンケートにて参加者の要望を把握し、可能な限り参加者のニーズに沿うよう講義内容を構成いただいた。また、演習ではデモデータを使用し、参加者にも実際に手元でExcelでの統計解析を体験いただき、ご自身でも実践できるような参加型のゼミとなった。

参加者アンケートでは講義の理解度および満足度ともに高く、「症例発表と研究発表の違いについて整理することができて良かったです」「基礎的な内容でわかりやすかった」「初心者でも分かりやすく、内容も頭に入ってきた」「統計学を基礎から学べ、初心者が統計学を学ぶきっかけになりました。また、実際の研究発表も聞いて刺激になりました。」などのコメントをいただいた。また、演習においても理解度および満足度ともに概ね高い回答であったが、Excelの互換性や操作時間が短かったためにあまり理解・満足できなかったとの回答も3名あった。「曖昧な理解だった統計について学べたことがよかったです」「実際の統計にはやはり難しさがあると感じた。しかし統計の苦手意識は若干克服できた。」「zoomを聴きながらでも作業できた。一つ一つの作業をもう少し時間をかけて、詳しく検定を行いたいと感じた。」「先生方がフォローして下さり、演習もスムーズに理解できました」「進行が早くエクセル操作が間に合わなかった」「序盤の段階でうまく実施できなかったため以降の演習ができなかった」とのコメントをいただいた。改善点については「内容に対して、時間が厳しいと感じた」「分かりやすい発表、テーマが明確な報告など、例えばどんなものがあるのか知りたかった」「難しいと思いますが、同じ受講生で研究発表を考えている人（似たような境遇の方）と会話できると良かったです」などのコメントがあり、時間配分や演習の実施方法は検討が必要である。今後開催してほしい講座のテーマや企画としては、「統計学を1年程度を通して学べる企画があると嬉しいです」「Rを使用した統計解析の方法」「統計学入門的な講義」といった統計学に関する講義や演習の要望を確認できた。今回の参加者は、臨床経験が6年目から17年目と幅広く、これから研究を始める方だけでなく後輩や職場で指導する立場の方も参加されていた。また、参加者に事前アンケートを行って参加目的を把握するようにしたり、現地参加も可能としたため、「アンケート内容に沿った内容のため、おそらく皆さんの知りたかった内容は網羅できているのではないかと思います。とにかく分かりやすく、特に研究に興味が出てきている新人なんかには良い題材だと思った。」「直接、研究に対しての疑問やアドバイスを相談する事ができました。」などのコメントもいただいた。その他のコメントを含め、研究に際しての基礎的知識を学ぶ機会の提供にニーズがあることに気づけた。引き続き、今後の学会発表する方、研究に取り組みたい方を支援する活動を継続していきたい。

【活動風景】

